

株式会社 水倉組

DX宣言書

2024年7月31日
株式会社 水倉組
代表取締役 水倉 直人

□ 経営理念

地域の産業や人々の暮らしを支える使命に真摯に向き合い、ICT活用や官民連携での新技術開発に挑戦します
協力と礼節を重んじ、「変革と進化に挑む」精神で持続可能な社会の実現に貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の活用によって働き方改革を推進し、社員全員が働きやすい職場環境を実現します
- ◆ 社員の声が経営に活かされていると実感できる社内コミュニケーション体制の整備を進め、社員と会社が一体となり双方の成長に貢献し合う関係を構築します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年3月)

戦略 「現状分析と課題抽出を行い、当社が目指す姿を実現するためのDX推進計画を策定」

- 施策
- ・ 各部門の業務プロセスやシステム化状況の可視化を行い、「目指す姿を実現するために、何を解決すべきなのか」という観点で、具体的な課題抽出と改善策をリストアップ
 - ・ 取り組みの方向性を明確にし、実効性のある変革を実施するため、DX推進計画を策定
 - ・ 全社一丸となった取り組みにするため、社員に対する説明会を実施
 - ・ 社内にDX推進チームを設置、目的を確実に達成できるDX推進体制を構築
 - ・ 外部知見や情報を積極的に活用し、社内にDXに関するノウハウを蓄積

➤ フェーズ2(2025年4月 ～ 2026年3月)

戦略 「DX推進計画にて設定した短期施策を実行し、業務効率化効果の早期創出、働き方改革に向けた土台作りの実施」

- 施策
- ・ 短期施策として設定した改善施策を実行、早期に導入効果を創出し、改革気運を醸成
 - ・ 社員の使いやすさと既存システムとの互換性を考慮したツールの選定と段階的な導入
 - ・ ITツール導入に伴い、DX推進チームを中心とした利用・定着化サポートを実施
 - ・ データに基づく意思決定の迅速化に向け、社内データを管理する基盤をクラウド環境に構築

➤ フェーズ3(2026年4月 ～ 2027年9月)

戦略 「DX推進計画にて設定した中長期施策を実行し、各部門ごとの特性に合わせたIT利活用による業務改革の実現」

- 施策
- ・ 各部門の課題に対応し、導入効果の高いITツールの導入・利活用の実施(BIM/CIM活用等)
BIM/CIM…計画から維持管理までの全段階で3次元モデルを活用し、関係者間の情報共有を容易にして、建設生産・管理システムの効率化と高度化を目指す手法
 - ・ ITツールの効果的な利活用のため、社員に対する研修プログラムの実施
 - ・ 各部門で収集されたデータの分析・活用、データに基づく意思決定の迅速化
 - ・ プロジェクトの採算予測とリスク管理の強化
 - ・ DX推進により、社内の働き方改革を早期に実現し、社員全員が働きやすい環境の整備、当社の成長を加速させる組織体制を構築

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 社員による業務改善提案 : 30件(～2027年9月)
- ・ 年次有給休暇取得率 : 75%(～2027年9月)



第四北越銀行